

臨床研究に関する情報公開

福井大学医学部産科婦人科では、倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、この臨床研究に同意いただけない場合は、お手数ですが下記問い合わせ先までご連絡下さい。

平成 29 年 1 月 福井大学医学部産科婦人科

【研究課題名】

子宮内膜癌診断における子宮内膜細胞診と組織診の精度管理に関する後方視的検討

【研究期間】 承認日～2019年03月31日

【研究の意義・目的】

子宮内膜癌は、近年増加傾向にあり、早期においては比較的予後良好であるため早期発見が重要である。日本では、子宮内膜細胞診が、1988年の老人保健法により検診に取り入れられて以来、早期発見法として頻用されているが、世界では受け入れられていないのが現状である。

その理由として、①採取器具が内腔に十分挿入されないことや萎縮内膜のため検体採取が手技的に不可能な場合、②背景に出血や壊死物質が多く内膜細胞を覆ってしまい判定が困難な場合、③核異型が弱いGrade1の類内膜腺癌などの細胞の判定に習熟が必要な場合などがあり精度の低さが挙げられる。

一方、診断の基本となる内膜搔把による組織診においては、被験者の疼痛や不快感を考慮すると外来で簡単に施行することはできないという弱点がある。

そこで、「当院における細胞診と組織診の成績を後方視的に検討し、それぞれの検査の改善点を検討し、早期診断に繋げること」を目的とする。

【研究対象】2005年以降、当院外来で子宮内膜細胞診と子宮内膜組織診を施行した患者さん

【研究方法】

当院の患者の診療録等の診療情報を用いて、専ら集計、単純な統計処理等を行い以下の項目について検討する。

- ①細胞診の不適正検体率・感度・特異度を算出
- ②細胞診の問題点を検討
- ③組織診の不適正検体率・感度・特異度を算出
- ④組織診の問題点を検討

などの検討を行い、それぞれの改善点を提案する。

研究のために検体を採取することは行わない。

【研究組織】

研究責任者	吉田好雄	産科婦人科	教授	
研究分担者	黒川哲司	産科婦人科	准教授	
研究分担者	知野陽子	総合周産期母子医療センター		特命助教
研究分担者	品川明子	産科婦人科	助教	

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究は、データのみ扱い、個人情報 を 厳重に保護して行います。なお、本研究や保有する個人情報に関するお問い合わせ等がございましたら、下記へご連絡下さい。

○問い合わせ窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3
福井大学医学部 産科婦人科 黒川哲司
電話：0776-61-8392

○苦情の窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3
福井大学 総務部 松岡キャンパス総務室 学術支援係
電話：0776-61-8614